

お金って増えるの？ 銀行の秘密をさぐろう

主な発問・指示	指導上の留意点
<p><問6> 会社が銀行からお金を借りるのはどんなときでしょうか？ 番号に○をつけましょう。</p> <p>() ① 新しい工場をつくるとき () ② 新製品をつくるとき () ③ ビルを建て直すとき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が問題文を読む。 ・○をつけた番号を発表させる。 ・同じ番号をつけた子は挙手させる。
<p>ほかにどんなときに会社はお金を借りるのでしょうか。 □の中書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師がふき出しを読む。 ・書けた子は教師に持ってこさせる。 ・黒板に書かせ、発表させる。 ・わからない子は写させる。
<p><問7> 銀行があると、下のようなことができます。正しい順番になるように、□に数字を書きましょう。</p> <p>「銀行がないと、お金を借りて何かをしたりすることができません。家を買ったり車を買ったりするなど高い買い物できません。会社も、お金が足りないと新しいことが何もできなくなってしまいます。 豊かな社会のために、銀行が必要なのですね。 みんなの預金も、豊かな社会のために役立っているのです。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が問題文を読む。 ・数字がかけた子を指名して発表させて、答え合わせをする。 <p>・全員でふき出しを読ませる。</p>

《指導にあたって》

- 問題文や説明の文は、適宜子どもたちに音読させる。その際、難語句があるので、教師が範読した後で子どもたちに読ませることが望ましい。
- 子どもたちの作業には時間差が生じる。そのために、次のような手立てをとり、時間差をうめるようにする。
 - ・早く終えた子に発表させる。
 - ・早く終えた子に読ませる。
 - ・早く終えた子に板書させる。
 また、発表させたり、板書させたりすることで、わからない子の参考にさせる。
- 答えを書かせたら、手を挙げさせたり、発表させたりして、確認をする。

産業教育 金融
産業教育 金融テキスト「銀行」
対象学年：小学校高学年

お金って増えるの？ 銀行の秘密をさぐろう

わたしたちの生活に身近な「銀行」。みなさんの中にも、銀行に、お金を預けに行ったことのある人が、いるのではないのでしょうか？ 「銀行」は、いったいどんなことをしているのでしょうか？ 「銀行」について、このテキストで学んでいきましょう。

- 1 お年玉をどうする？ 2
- 2 銀行の仕事ってどんなこと？ 3
- 3 なんでお金が増えるの？ 4
- 4 会社もお金を借りているの？ 6

年 組 名前

産業教育研究会

桜井 健一

1. **対象学年**：小学校5・6年（1～2時間）
2. **ねらい**：子ども達に身近な『お年玉』から、銀行の仕事について学び、金融に対する関心をもたせる。
3. **進め方**：テキスト通りに進める。テキストの発問を読み、子ども達に答えさせていく形である。テキストを一枚ずつコピーして配布していく形で進めてもよい。

主な発問・指示	指導上の留意点
<p>《テキストの表紙より》 わたしたちの生活に身近な「銀行」。みなさんの中にも、銀行に、お金を預けに行ったことのある人が、いるのではないのでしょうか？「銀行」は、いったいどんなことをしているのでしょうか？「銀行」について、このテキストで学んでいきましょう。</p> <p>1. お年玉をどうする？</p> <p>「お年玉で欲しいものを買っても、お金が余っちゃった。」 「お年玉を銀行に預けるといいね。」 「銀行に預けるといいことってあるの？」 「いいことがあるわ。どんなことだと思う？」</p> <div data-bbox="145 852 853 977" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜問1＞ お金を銀行に預けるとどんないいことがあるのかな？思いつくことを書いてみましょう。</p> </div> <p>銀行にお金を預けるとお金が増えます。銀行にお金を預けることを『預金する』といいます。</p> <p>2. 銀行の仕事ってどんなこと？</p> <p>「ぼくが銀行に預けたお金はどうなっちゃうの？」</p> <div data-bbox="145 1377 853 1671" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜問2＞ 銀行に預けたお金はどうなるのでしょうか。賛成する意見に○をつけましょう。</p> <p>① () 金庫に入れてずっとしまっておくと思うな。 ② () お金を借りたい人に貸してあげると思うな。 ③ () 国に寄付するのかも。</p> </div> <p>銀行はお金を預かって、お金が足りない人や会社に貸すのが仕事です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト表紙を読み、今日勉強することを知らせる。 ・教師が問題文を読む。 ・1つ書いたら教師の所に持ってくる。 ・○をもらった子は2つ目、3つ目を書く事を指示する。 ・書いた事を発表させる。 ・思いつかなかった子には発表された事を書いておくことを指示する。 ・教師が読み、全員に「預金する」と復唱させる。 ・「銀行にお金を預けることを何といますか」「預金するとはどんなことですか」と問い、指名して答えさせる。 ・教師が問題文を読む。 ・○をつけた番号を発表させる。 ・同じ番号をつけた子は挙手させる。 ・「銀行は・・・」の文章を全員で読ませる。

主な発問・指示	指導上の留意点
<p>3. なんでお金が増えるの？</p> <div data-bbox="1484 280 2192 401" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜問3＞ 預金するとなぜお金が増えるのでしょうか？うすい文字をなぞりましょう。</p> </div> <p>「ただでお金を貸してくれるの？」</p> <p>「もちろん、ただでお金を貸してはくれません。お金を借りた人は借りた金額に「利息」をつけて銀行に返さなくてはけません。」</p> <p>「銀行は利息をもらっても、ぼくのお金は増えないよ。」 「お金を預けた人も何かもらえるみたいだわ。」</p> <div data-bbox="1484 966 2192 1087" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜問4＞ どんなことをしたい人がお金を借りるのでしょうか。上の図を参考にして□の中に書きましょう。</p> </div> <p>4. 会社もお金を借りているの？</p> <div data-bbox="1484 1319 2192 1441" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜問5＞ どのようにして、会社も銀行からお金を借りるのでしょうか？うすい文字をなぞりましょう。</p> </div> <p>「銀行がお金の必要な人や会社にお金を貸すことを融資といいますが。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が問題文を読む。 ・「預ける人」→「お金」→「銀行」→「お金」→「借りる人」へ指で指しながら子どもに確認させる。 ・教師が吹き出しを読む。 ・なぞった子は博士の吹き出し、□の中を読ませる。そして最後に全員で読ませる。 ・教師が吹き出しを読む。 ・P4と同様に「利息」をもらうまでを指で指しながら確認させる。 ・なぞれた子はまどめの図を読ませる。 ・教師が問題文を読む。 ・書けた子は教師に持ってこさせる。 ・書けた子を指名し、発表させる。 ・教師が問題文を読む。 ・「会社」「お金を借りる」「銀行」「融資する」という言葉を指差しながら矢印の方向を確認する。 ・全員で読む。 ・「銀行がお金の必要な人や会社にお金を貸すことを何といますか」「融資とはどんなことですか」と問い、指名して答えさせる。